(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3562694号
(P3562694)
(45)発行日　平成16年9月8日(2004.9.8)　(24)登録日　平成16年6月11日(2004.6.11)

(51)Int.Cl.[7]	F I		
B42D 11/00	B42D	11/00	E
B42D 15/04	B42D	15/04	J
B42D 15/08	B42D	15/08	A

請求項の数 1　(全 7 頁)

(21)出願番号　特願平9-301300
(22)出願日　平成9年10月31日(1997.10.31)
(65)公開番号　特開平11-129648
(43)公開日　平成11年5月18日(1999.5.18)
審査請求日　平成14年7月16日(2002.7.16)

(73)特許権者　000110217
トッパン・フォームズ株式会社
東京都港区東新橋一丁目７番３号
(74)代理人　100062225
弁理士　秋元　輝雄
(72)発明者　木原　悟
広島県広島市西区古江新町１４－２２

審査官　砂川　充

(56)参考文献　特開平０９－０９５０７０（ＪＰ，Ａ）
特開平０７－１２５４７５（ＪＰ，Ａ）
特開昭５２－１３６０３４（ＪＰ，Ａ）
特公昭５６－１０２６５（ＪＰ，Ｂ２）
実公平５－９３５（ＪＰ，Ｙ２）
最終頁に続く

(54)【発明の名称】配送伝票連続フォーム

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
それぞれ上位からの記載情報が同時複写可能に設けられた複写構成を有する送り状と受領票と裏面に粘着剤が塗布されている荷札票とを順に重ねてなる配送伝票を一単位とし、該複数単位の配送伝票が分離可能に連接されている配送伝票連続フォームにおいて、
前記配送伝票それぞれの送り状と受領票と荷札票とがフォーム連接方向に沿う一側辺側に設けた第一綴じ合わせ部で分離可能に綴じ合わされ、かつ、前記送り状と受領票とがフォーム連接方向に沿うもう一方の側辺側に設けた第二綴じ合わせ部で分離可能に綴じ合わされて、この送り状と受領票とが一体として前記第一綴じ合わせ部から分離可能に設けられ、
前記受領票は、フォーム連接方向に直交する上下辺それぞれに沿う切り欠き部を有してフォーム連接方向の縦寸法が送り状と荷札票の縦寸法より短く設けられ、この受領票に重なる送り状は、上下辺が前記切り欠き部を通して荷札票の上下辺に剥離可能に貼り合わされ、受領票の第二綴じ合わせ部側の辺部が荷札票に剥離可能に貼り合わされていることを特徴とする配送伝票連続フォーム。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は配送物の配送管理に使用する配送伝票の連続フォームに関するものである。
【０００２】

【発明が解決しようとする課題】
従来、配送物の配送管理に使用される配送伝票においては、配送物に貼着させるためのタック紙を台紙としてこれに送り状（配送作業員が配送作業を行う際に使用する帳票）、受領票（受領印受け用の帳票）、貼付票（配送物に取り付けて配送情報を配送物側で表示するための帳票）を重ね合わせて綴じ合わせたものとしており、最上位側から記載する配送情報が各帳票に同時複写される複写構成を備えていた。そして、この配送伝票に対する配送情報の記載を効率良く行うためにプリンタを用い、そのプリンタに連続的に配送伝票が送り込めるように一単位の配送伝票が複数単位で連続している連続フォームが使用されている。
【０００３】
しかしながら、従来の配送伝票連続フォームでは、配送伝票相互の分離部で送り状、受領票、貼付票、タック紙が重なっており、このように多くの帳票が重なっている部分に分離用ミシン目を穿設して分離部としているため、その分離部が堅くなり、例え、ミシン目が穿設されていてもそのミシン目のタイ（切目と切目の間）が多く存在して配送伝票それぞれが簡単に分離できないという不都合があった。さらに、配送伝票連続フォームを保管するなどに際し、前記分離部を折目として重ね折りするようにしているが、その分離部が堅く折り癖が付き易い。そし、一旦、その分離部に折り癖が付いてしまうと、テンティング（折り癖により分離部が隆起する状態）を生じたままプリンタ内部の移送工程に送り込まれるようになってしまい、プリンタ内部でその分離部が引っ掛かったり破れを生じたりするという問題も生じ易かった。
また、上記の配送伝票では剥離紙を有して比較的素材コストが高いタック紙を、貼付票を配送物に取り付けるための手段としてしか使用しておらず、配送伝票全体の価格を引き上げるという不経済な点もあった。
そこで本発明は上記事情に鑑み、配送伝票連続フォームにおいて個々の配送伝票が簡単に分離でき、また、折り重ね状態から引き出される連続フォームに上記テンティングが生じないようにしてタック紙の有効利用を行うことを課題とし、使用勝手がよくプリンタに対するフィード適性を良好にし、低廉な配送伝票を提供することを目的とする。
【０００４】
【課題を解決するための手段】
本発明は上記課題を考慮してなされたもので、それぞれ上位からの記載情報が同時複写可能に設けられた複写構成を有する送り状と受領票と裏面に粘着剤が塗布されている荷札票とを順に重ねてなる配送伝票を一単位とし、該複数単位の配送伝票が分離可能に連接されている配送伝票連続フォームにおいて、前記配送伝票それぞれの送り状と受領票と荷札票とがフォーム連接方向に沿う一側辺側に設けた第一綴じ合わせ部で分離可能に綴じ合わされ、かつ、前記送り状と受領票とがフォーム連接方向に沿うもう一方の側辺側に設けた第二綴じ合わせ部で分離可能に綴じ合わされて、この送り状と受領票とが一体として前記第一綴じ合わせ部から分離可能に設けられ、前記受領票は、フォーム連接方向に直交する上下辺それぞれに沿う切り欠き部を有してフォーム連接方向の縦寸法が送り状と荷札票の縦寸法より短く設けられ、この受領票に重なる送り状は、上下辺が前記切り欠き部を通して荷札票の上下辺に剥離可能に貼り合わされ、受領票の第二綴じ合わせ部側の辺部が荷札票に剥離可能に貼り合わされていることを特徴とする配送伝票連続フォームを提供して、上記課題を解消するものである。
【０００５】
つぎに本発明を図１から図４に示す実施の形態に基づいて詳細に説明する。
図中１は配送伝票連続フォームであり、該配送伝票連続フォーム１は一単位の配送伝票２が複数単位にして分離用ミシン目よりなる分離部３を境にして分離可能に連接されているものである。そして、図１と図２に示すように配送伝票２それぞれは、送り状４と受領票５と荷札票（貼付票）６とした複数枚の帳票が順に重ねられており、各送り状４、受領票５、荷札票６との表面それぞれに配送情報記載部７を上下方向に重なる位置にして設け、最上位側からその配送情報記載部７に記載される配送情報が下位の帳票、図示した例では

受領票５と荷札票６の配送情報記載部７それぞれに同時複写できる複写構成を有している。

【０００６】

上記構成の配送伝票２が分離部３を境にして連続した配送伝票連続フォーム１では、上記荷札票６を分離部３を境にして連続した荷札票フォーム６Ａとその荷札票６と同形状とした送り状４を分離部３を境にして連続した送り状フォーム４Ａとの間に、用紙送り部で複数の受領票５が連結されている受領票フォーム５Ａが配置されているものであり、一単位の配送伝票２が構成されるように送り状４と受領票５と荷札票６とが上下に対応させなら配置されている。なお、荷札票６は裏面に塗布された粘着剤８を剥離可能に覆う剥離紙９を備えているものであり、タック紙として構成されているものである（図３参照）。

そして、上述したように各フォームの送り状４と受領票５と荷札票６との重ね合わせによりなる各単位の配送伝票２にあっては、送り状４と受領票５と荷札票６とがフォーム連接方向に沿う一側辺側に線状にして塗布した接着剤１０により綴じ合わされ、さらに送り状４と受領票５とにおいてその接着剤１０に沿うようにして切取り用ミシン目１１を穿設され、この接着剤１０と切取り用ミシン目１１とで前記三帳票４，５，６を分離可能に綴じ合わせてなる第一綴じ合わせ部１２がフォーム連接方向に沿う一側辺側に設けられている。

また、前記送り状４と受領票５とにあっては、上記第一綴じ合わせ部１２と対向する側であってフォーム連接方向に沿うもう一方の側辺側で綴じ合わされている。図４に示されているように、送り状４と受領票５とにおける前記第一綴じ合わせ部１２と対向する側の辺が接着剤１３を介して綴じ合わされ、さらに、その接着剤１３に沿って切取り用ミシン目１４が穿設されており、前記第一綴じ合わせ部１２に対向して前記接着剤１３による綴じと切取り用ミシン目１４の穿設とで、送り状４と受領票５とを分離可能に綴じる第二綴じ合わせ部１５が設けられている。このように、前記送り状４と受領票５とが第二綴じ合わせ部１５で分離可能にして綴じ合わされ、かつ、第一綴じ合わせ部１２でも分離可能に綴じ合わされていることから、この送り状４と受領票５とを一体とした状態ままで第一綴じ合わせ部１２から、即ち、荷札票６から分離できるように設けられている。

【０００７】

また、上記送り状４と受領票５とは必要時に荷札票６から離すことができるようにしながら、その荷札票６に対して安定的に重ね合わせ形態が維持されるようにした工夫が行われている。図示するように、受領票５にあっては、フォーム連接方向に直交する上下辺１６，１７に沿って切り欠き部１８を有しており、この上下の切り欠き部１８を設けたことにより、受領票５はフォーム連接方向の縦寸法が送り状４と荷札票６の縦寸法より短いものとしている。なお、上述したように各受領票５は連続フォームの形態の時点で用紙送り部で連結されており、前記切り欠き部１８は第一綴じ合わせ部１２までには達しないものである。

そして、上記受領票５の上に重ねられる送り状４は、上下辺１９，２０が前記切り欠き部１８を通して荷札票６の上下辺２１，２２に、剥離可能な接着力を呈する接着剤２３を介して剥離可能に貼り合わされ、さらに受領票５の第二綴じ合わせ部１５における切取り用ミシン目１４側の辺も、同様にして接着剤２３を介して荷札票６の辺２４に対応する部分に剥離可能に貼り合わされている。

上記受領票５と荷札票６との間にあっては、前記受領票５における上辺１６と下辺１７とが荷札票６の対向する部分とが弱接着力の接着剤２３を介して剥離可能に貼り合わせられており、これら接着剤２３を介しての貼り合わせで荷札票６に対して送り状４と受領票５とが安定的に重ね合わされる。勿論、第二綴じ合わせ部１５から引き起こすことで、この送り状４と受領票５とは荷札票６から容易に引き剥ぐことができる。

【０００８】

上記構成の配送伝票２の使用に際しては、送り状４の配送情報記載部７に所要の配送情報を記載した後（この時、下位の帳票の配送情報記載部にも配送情報が同時に複写される）、荷札票６において上記第二綴じ合わせ部１５に対応するようにして入れられたスリット

２５（剥離紙を分断しない深さとしたスリット）から側辺部分を指掛かりとして剥離紙９を剥ぎ取り、配送物に貼着する。配送の所要過程で、図５に示すように、上記送り状４と受領票５とを綴じ合わせている第二綴じ合わせ部１５を持って引き上げ、その送り状４と受領票５とを一体となった状態のまま荷札票６から分離する。なお、図５に示すように、第二綴じ合わせ部側の各用紙送り部が予め取り除かれている。配送物側に取り付けられている前記荷札票６には配送情報が記載されているため、配送物自体の取り扱いはこの荷札票６に記載されている情報に基づいて行われる。そして、取り外された送り状４、受領票５は互いに分離され、一方の送り状４の情報に基づいて配送作業員が配送作業を行い、、他方、受領票５にあっては、配送物の受け渡しの際に受領印を受けるようにする。これによって、配送物の配送が完了する。

【０００９】

配送伝票２個々に分離する前の上記配送伝票連続フォーム１において、配送伝票２の分離部３では送り状４と荷札票６とが重ね合わされているだけであり、分離用のミシン目でのタイの部分も少なく容易に一単位ごとの配送伝票２に分離できる。さらに、送り状４と荷札票６とを重ね合わせて分離用のミシン目を入れた分離部３を折り込んでも、積層されている帳票の枚数が極めて少ない（送り状４と荷札票６との２枚）ために容易に折り曲がるとともに、折り畳まれた配送伝票連続フォーム１を引き出す場合でも折り癖が付くことがなく、平滑な分離部３の形態が得られる。

【００１０】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の配送伝票連続フォームは、それぞれ上位からの記載情報が同時複写可能に設けられた複写構成を有する送り状と受領票と裏面に粘着剤が塗布されている荷札票とを順に重ねてなる配送伝票を一単位とし、該複数単位の配送伝票が分離可能に連接されている配送伝票連続フォームであって、前記配送伝票それぞれの送り状と受領票と荷札票とがフォーム連接方向に沿う一側辺側に設けた第一綴じ合わせ部で分離可能に綴じ合わされ、かつ、前記送り状と受領票とがフォーム連接方向に沿うもう一方の側辺側に設けた第二綴じ合わせ部で分離可能に綴じ合わされて、この送り状と受領票とが一体として前記第一綴じ合わせ部から分離可能に設けられ、前記受領票は、フォーム連接方向に直交する上下辺それぞれに沿う切り欠き部を有してフォーム連接方向の縦寸法が送り状と荷札票の縦寸法より短く設けられ、この受領票に重なる送り状は、上下辺が前記切り欠き部を通して荷札票の上下辺に剥離可能に貼り合わされ、受領票の第二綴じ合わせ部側の辺部が荷札票に剥離可能に貼り合わされていることを特徴とするものである。このように、配送伝票連続フォームにおいて配送伝票同士の連接方向での繋がり部分は送り状と荷札票との重なりだけとなり、この重なり枚数の少ない部分に分離用のミシン目などを穿設すれば、ミシン目を生かして容易に分離操作を行えるようになる。また、繋がり部分での重なり枚数が少なく剛性が高くないため、ミシン目部分で折り曲げるようにしても折り癖が付き難く、配送伝票連続フォームを引き出す際のテンティングが生じず、プリンタなどに対するフィード適性を良好なものとすることができる。

さらに、配送伝票にあっては荷札票を配送物に貼着させるものとしているため、従来のタック紙を台紙として用いる必要はなくなり、よって、材料コストを低減させて安価な配送伝票を提供できるなど、実用性に優れた効果を奏するものである。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明に係る配送伝票連続フォームの一例を分離した状態で示す説明図である。

【図２】同じく一例を一部切り欠いて示す説明図である。

【図３】連接方向に沿った断面を示す説明図である。

【図４】連接方向と直交する方向に沿った断面を示す説明図である。

【図５】配送伝票の使用形態を示す説明図である。

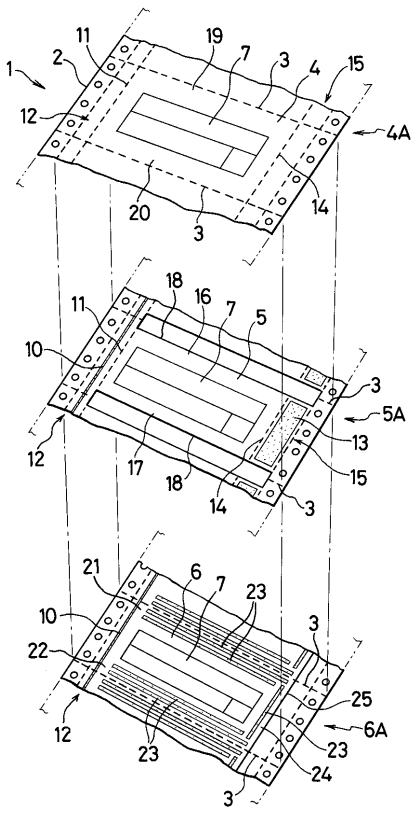
【符号の説明】

１…配送伝票連続フォーム

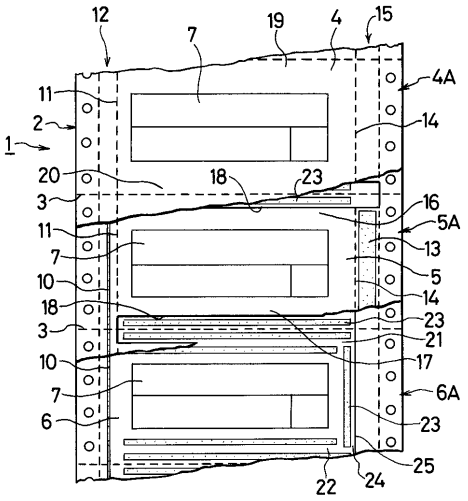
２…配送伝票　３…分離部　４…送り状　５…受領票　６…荷札票

１２…第一綴じ合わせ部　１５…第二綴じ合わせ部
１８…切り欠き部
２３…接着剤

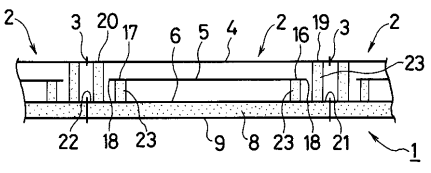
【図１】



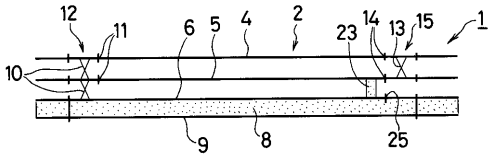
【図２】



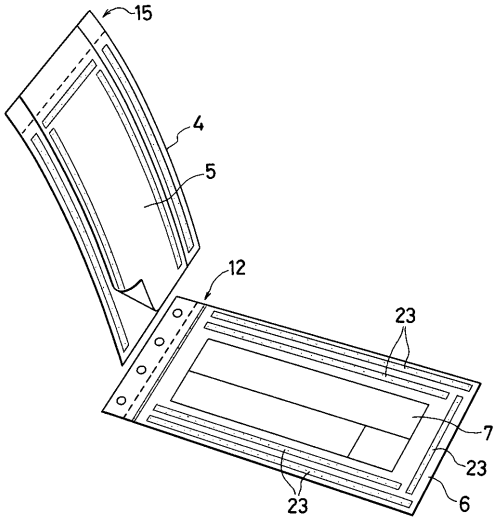
【図３】



【図４】



【図５】



フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl.[7], ＤＢ名)
B42D 5/00-15/08
B65D 27/00-27/10